

栃山川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～河川改修による浸水被害の軽減及び流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、栃山川水系においても事前防災対策を進める必要がある。
- 大井川の氾濫によって形成された志太平野を流下する栃山川流域は、市街化の進展や海岸砂丘の後背低地で流水が滞留しやすい地形的特性などにより水害リスクが高い地域であることから、河川改修や河道掘削、雨水貯留浸透施設の整備等を実施する。
- これらの取組により、県管理区間においては、昭和57年9月洪水と同様（年超過確率：概ね1/5規模の降雨）の洪水を安全に流下させることを目標とする。
- 加えて、各戸貯留や水田貯留など流出抑制対策の推進、立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくりの推進や各種ハザードマップの作成・周知等、ソフト対策と合わせて流域一体となって、激甚化する水害や想定される津波に対して被害の軽減を図る。

位置図



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【流下能力の向上・維持】

- ・ 河川改修（河道拡幅、河道掘削、伐木等）、水門の機能維持
- ・ 内水氾濫対策の強化（雨水排水網の新設・増強等）
- ・ 農業取水堰の改良・統廃合や占用物件の適正管理

【貯留機能の確保】

- ・ 雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留、公園貯留、雨水貯留管等）
- ・ 農業水利施設の活用（ため池、排水機場の活用や適正管理）

【流域の流出抑制】

- ・ 流出抑制対策の推進（各戸貯留、水田貯留など）

等

●被害対象を減少させるための対策

【土地利用】

- ・ 立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくりの推進
- ・ 土地利用の適正指導、無秩序な開発の抑制

【住まい方の工夫】

- ・ 災害ハザードエリアの開発抑制
- ・ 水災害リスク情報の空白域の解消（土砂災害警戒区域LP測量による新規抽出）

等

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【水災害リスク情報の充実や周知】

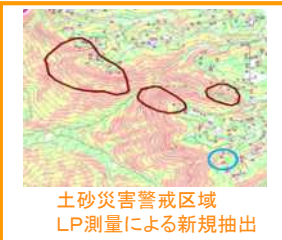
- ・ 水災害リスク情報の空白域の解消（洪水浸水想定区域図の作成、ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域標識等の設置等）
- ・ ハザードマップ周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組（住民及び小中高等学校への水防災教育、出前講座、避難訓練、マイ・タイムラインの推進 等）
- ・ サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供・充実

【避難体制の強化】

- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

等

- 水災害リスク情報の充実や周知(冠水センサー)(焼津市)
- 内水氾濫の被害軽減(排水ポンプ車の配備)(市)
- 内水氾濫対策の強化(雨水排水網の新設・増強等)(市)
- 流出抑制対策の推進(各戸貯留、水田貯留等)(県・市)
- 雨水貯留浸透施設の整備(校庭貯留、公園貯留、雨水貯留管等)(県・市)



凡例

- 県管理河川
- 市管理河川
- 流域界

栃山川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～河川改修による浸水被害の軽減及び流域治水対策の推進～

● 栃山川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 河川整備計画に基づく河川改修や水門の機能維持に着手する。

加えて、被害軽減のために内水氾濫対策を強化するとともに、公共施設の雨水貯留浸透施設を整備し流出抑制対策を推進する。

浸水リスクを考慮したまちづくりのため、立地適正化計画に記載する「防災指針」を策定し、推進する。

【中期】 浸水被害軽減のために校庭貯留や公園貯留などの雨水貯留浸透施設を整備を推進する。

【中長期】 浸水被害の軽減のため、河川整備計画に基づく河川改修や水門の機能維持を引き続き実施する。

併せて、市と連携したソフト対策による短期からの継続的な理解促進の取組により、流域住民全体の防災意識の向上を図る。

■事業規模

・河川対策

全体事業費 約43億円 ※1
対策内容 河道改修、河道掘削 等

※1：残事業費を記載

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※調査・検討から着手する施策については地権者の協力等、関係者間の調整が整った箇所から実施

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ減らすための対策	流下能力向上のための河川改修の実施 水門の機能維持	静岡県・焼津市・ 藤枝市・島田市	整備計画に基づく河川改修、水門の機能維持		
	内水氾濫対策の強化	焼津市・藤枝市	調査・検討	内水氾濫対策の強化(雨水排水網の新設・増強等)※	
	農業取水堰の改良・統廃合や占用物件の適正管理	静岡県・焼津市・ 藤枝市・島田市・ 大井川土地改良区			
	河川への流出を抑制する 雨水貯留浸透施設の整備	静岡県・ 焼津市・藤枝市	雨水貯留浸透施設の整備(校庭貯留、公園貯留、雨水貯留管等)※		
	農業用水利施設等の活用	焼津市・藤枝市	調査・検討	農業用水利施設等の活用(ため池・排水機場の活用や適正管理)※	
	流出抑制対策の推進	静岡県・焼津市・ 藤枝市	調査・検討	流出抑制対策の推進(各戸貯留、水田貯留等)※	
	治山施設、森林整備	静岡県・島田市			
被害対象を減少させるための対策	土地利用の適正指針による無秩序な開発抑制 災害ハザードエリアの開発抑制	焼津市・藤枝市・ 島田市	調査・検討	立地適正化計画(防災指針)の策定	
	立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくりの推進	焼津市・藤枝市・ 島田市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県・焼津市・ 藤枝市・島田市	浸水想定区域図作成、ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域標識等の設置等		
	ハザードマップの周知及び住民の水災害リスクに対する理解促進の取組	静岡県・焼津市・ 藤枝市・島田市	マイ・タイムラインの推進、住民及び小中高等学校への水防災教育、出前講座、避難訓練等		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	焼津市・藤枝市・ 島田市			
	サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供・充実	静岡県・焼津市・ 藤枝市・島田市			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進